

別紙

**平成28年度企画提案型協働事業（アイデア審査）
地域高齢者への身体活動増進プログラムの提供
提案に関する委員会付帯意見**

- 1 なるべく多くの高齢者が参加できる仕組みづくりに努めてください。
- 2 継続性が重要になる事業だと思われるので、資金調達や実施体制など、長期的な展望について具体的に検討してください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

目的・内容が明確

- ・地域社会が抱える課題を的確に捉えている。
- ・事業の目的や内容が具体的である。
- ・市との協働により、効果的でより質の高いサービスが提供できると思われる。
- ・地域高齢者の活性化はどの地域でも必要であるが、印西市は散歩等に相応しい地域であり、取り組みやすい事業であると思う。
- ・市の役割が明確。
- ・市の担当者としっかり話し合っ、市の事業として行う上での位置付けを確認する必要がある。
- ・健康長寿を目指すための事業アイデアとしては、独創性があり、試験的な取り組み実績もあるため、事業としての具体性も明確と考えます。次のステップとしては、印西市の担当部局が ALIpro さんの事業を理解し、印西市として協働事業として取り組む or 取り込めるか否かの検討になると思います。まちづくりファンドの資金の件が、いずれ協働事業の募集要項に抵触するおそれがありますが、市の担当部局とより事業内容を詰めたうえで、ファンドを使うか協働事業で行くのかを判断してもよいのではないのでしょうか？事業アイデアとしては独創性があり、また具体性も明確と考えます。

事業計画

- ・高齢化社会は今後ますます深刻な状況になってきている現状を考えた時、高齢者向け program は重要と考えます。歩数計の活用のみならず、他の tool、program を活用した支援策を望みます。
- ・アクセス point の選定が、参加者の拡大につながると思いますので、是非多くのアクセス point を設立して頂きたい。
- ・計測対象が歩数のみという簡便なプログラムなので、より多くの高齢者が参加でき、その結果元気な高齢者の地域参加に寄与できるのではないかと。
- ・歩数計とデータ管理を行うことで、外に出る機会、コミュニケーションが増えることはよいと思う。
- ・将来的に、何人ぐらいまで拡大可能かを明確にする必要があると思いますが、健康増進ツールとしては、やる価値ありと考えます。
- ・総務省等のスマートウェルネスシティ構想の実現につながる等、自治体にも協働のメリットが出るようなビジョンや方策も同時に検討して頂きたい。
- ・予防医療・健康増進に関する手法は、身体活動増進＝歩くだけでなく、血圧、体重等や他いくつかの活動要素を組み合わせる必要もあると思います。

- ・事業の内容は明確であるが、すでにスマートフォンアプリを活動した類似のプログラム（歩数計付きのスマホがほとんどであるし、又、ポケモンゴーも歩くスマホのゲームである）があるし、新しいアイデアとは思えない。又、1日40分以上の歩く日常的身体活動は、高齢者には、苦痛であると思うし、費用対効果の面で必要経費、年120万円程度も、何か市民への2重投資の意味合いが強く（高齢者社会で2025年には団塊の世代がすべて75歳を超えるし、ほとんど今、団塊の世代より後の世代はスマホを使っている）なると思う。アイデアとして、少し古いかなと考えます。
- ・アイデアは良いが市との協働事業としては対象が限定的であるように思われます。市の協働事業とするためには、市民全体の健康増進を促す多様なしくみづくりや分析結果を他の行政施策に生かせるようなデータの共有（参加者だけでなく市も含め）システムの構築なども重要な取組みと思われます。
- ・高齢者の健康維持を日常身体活動である散歩、買い物、家事などの増加をすることで促すアイデアは、わざわざ運動を行うということではないので高齢者には取り組みやすいアイデアだと思う。共通の歩数計でグループ内で共有することは、仲間意識を維持することになると思います。5年後、参加者の70%がクリアし、広がっていくことを期待しています。

継続性

- ・経済的な視点に欠けている。いつまで公的なお金で続けていきますか？
- ・協働事業終了後の展開については、要検討。もう少しアイデア必要。
- ・データを集めて効果を測定する事業なので、ある程度の継続性が必要となる。長期的事業をするための展望を今から具体的にもってほしい。